

学校だより **明るく 元気に たくましく**

平成22年11月5日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-245-0304

FAX 082-245-0349

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



文化祭で販売予定のうさぎの置物

□ はじめに

朝晩、空気が冷たく感じられるようになりました。正門の側の楠木は、毎日赤く色付いた葉っぱをたくさん落とし、秋の深まりを告げています。今、本校では、文化祭に向けて学習の成果を発表する準備を進めているところです。しかし、心配なことは、毎朝、学校に入ってくる児童生徒の欠席の連絡です。咳、のどの痛み、微熱で欠席をする児童生徒が目立つようになりました。気温の寒暖の差が大きい季節です。風邪などひいたりしないよう学校生活において、室内の気温や換気などに配慮していきたいと考えています。インフルエンザの流行も気になるところですが、児童生徒にとって充実した2学期を送ることができるようにしたいと思います。

□ 小学部修学旅行

9月30日(木)、10月1日(金)の1泊2日で、小学部6年生が、修学旅行に行ってきました。おもちゃ王国で遊具に乗ったり、オルゴールミュージアム・メタセコイアでオルゴールコンサートの鑑賞をしたりして、生活経験や見聞を広めてきました。修学旅行から学校に帰ってきて、玄関前で観光バスから降りてきた児童の表情は、皆、誇らしげで、大きな行事をやりとげたという満足感や充実感に満ちていました。この修学旅行での体験は、これからの学習に必ず生かされることと思います。



□ 体育祭・運動会

10月14日(木) 高等部の体育祭、19日(火) 小学部の運動会、22日(金) 中学部の運動会を実施しました。夏季休業中、新たにプレハブ校舎を建設したため少し狭くなったグラウンドですが、トラックを短くするなどして、本校で開催することができました。

高等部体育祭は、252名の来校者があり、生徒の躍りや力走に大きな声援をいただきました。生徒実態が大きく、競技に工夫が必要となりますが、スウェーデンリレーなどに見られるように、生徒一人一人の力を最大限発揮できるような内容としました。3年生にとっては、本校での最後の体育祭となりました。どの生徒も輝いており、最高の演技・競技をしました。

小学部の運動会では、155名の来校者がありました。児童の演技の一挙手一投足を見逃さず、温かい応援を送っていただいた皆様の拍手は、児童にとって大きなプレゼントとなったことでしょうか。全体演技の「ふたりはなかよし」での親子での踊りも微笑ましいものでした。児童一人一人が達成感を味わうことができたことと思います。

中学部の運動会では、生徒が、127名の来校者の前で練習の成果をいかに発揮しました。3年生にとっては中学部最後の運動会でしたが、「さすが」と思わせる生徒の活躍でした。閉会式で、生徒が応援していただいた方にお礼を言う姿勢は、素晴らしかったです。

なお、体育祭では、障害自立支援課課長 奥原様、障害福祉課課長 橋場様、特別支援教育課課長補佐 島筒様、指導主事 児玉様、広島市手をつなぐ育成会事務局次長 光岡様、他13名の来賓の方、小学部運動会では、障害福祉課課長 国重様、特別支援教育課課長 三村様、同主任指導主事 関様、広島市手をつなぐ育成会事務局次長 光岡様、二葉園主査 田中様他8名の来賓の方、中学部運動会では、障害福祉部部長 松出様、同障害福祉課課長 国重様、教育センター所長 松田様、同指導主事 戸田様、特別支援教育課指導主事 福庭様、他8名の来賓の方に御臨席を賜りました。なお、PTA会長、副会長の方々にはいずれの体育祭、運動会にも応援に駆け付けていただきました。大変ありがたく思います。御来賓の皆様方に厚くお礼申し上げます。

高等部
運動会



小学部
運動会



中学部
運動会



□ 教材教具相談会

10月13日(水) 広島国際大学医療福祉科教授坊岡正之氏、広島市産業振興センター、5社の企業の方が来校され、校内にある教材教具を見学されたり、開発されるとよいと思われる教材教具について本校教員から意見を聴取されました。本校の教員が、5つの教材教具についてプレゼンテーションをし、協議もしていただきました。今後、アイデアが生かされ、企業の力を借りて、児童生徒にとってよりよい教材教具が生まれることを期待します。



□ ビルクリーニングの実技研修

本年度より、生徒の就業促進を目的として就労支援を行う講師に来ていただき、教職員の専門性の向上に努めています。10月20日(水)には、第一ビルサービス Hands 事業部の八房充康様に来校していただき、高等部教職員を対象にした全体研修を行い、清掃の目的、心構え、道具の基本操作について学びました。一つ一つの動作には、きれいにするため、また、物を傷つけないようにするため、細かな配慮があることが分かりました。研修したことを、是非、作業学習の指導にも還元していきたいと思えます。



□ 大相撲広島場所観覧

小学部6年生が、10月30日(土)に、広島県立総合体育館で行われた「大相撲広島場所」を観覧しました。公開稽古、わんぱく相撲、禁じ手を紹介する初切り、相撲太鼓、相撲甚句、取組などがありましたが、特に横綱綱締めで、横綱白鵬が登場したときは会場が一層盛り上がり、さすが横綱の貫禄を感じました。

また、観覧席の近くまで力士さんが来てくれて、一人ずつ児童の名前入りのサインを書いてもらったり、一緒に写真を撮ったりすることもできました。そのやさしく力強い力士の様子を間近に見たことは、我が国の伝統や文化として継承されてきた大相撲を肌で感じ取ることとなったと思います。そして、児童一人一人の心の中で、やさしく力持ちの人になろうという思いが芽生えたことでしょう。



□ 建替ニュース

1 校章の公募

すでに御承知のとおり、本校は、平成24年9月の移転・開校を期に、本校発展への期待や思いを馳せることのできる新たな校章を制定します。そのため、校内に校章制定会議を設け、11月1日から校章の公募を開始しました。応募用紙は、すでにお配りしましたが、本校のホームページにも掲載していますので、是非、たくさんの応募を期待しています。広報誌「市政と市民」「教育ひろしま」広島市教育委員会のホームページにも掲載していますので、御覧ください。提出締切は、平成23年1月31日(月)となっています。

2 出島産業廃棄物処分場事業計画について

新聞記事で、産業廃棄物の出島処分場をめぐる、搬入ルート等について検討する内容が掲載されていました。広島県は、産業廃棄物の搬入を海上から陸路に変更する方針を示していますが、そのことについて、地元住民と話し合いが行われています。そのことで、工期が遅れることがないようにと切に願っています。また、校長から広島市教育委員会に対して、万一、陸路で産業廃棄物が輸送される場合について、安全等の配慮についてお願いをしています。なお、産業廃棄物の件について、御意見、御質問等がありましたら、校長をはじめ管理職にお聞かせください。

□ おわりに

このたびの体育祭、運動会で、医療的ケアの必要な児童生徒も安心して参加することができました。その理由は、3名の看護師の方の支援があったからです。常に児童生徒の様子に気を配り、冷静かつ慎重な対処をしていただきました。なにごともなく当たり前と見られがちですが、そこには大変な苦勞があります。教師も看護師との連携にきめ細やかな配慮を行い、児童生徒の指導に当たっているところです。医療的ケアの必要な児童生徒が、安心して学校生活を送ることができるよう今後も努めていきます。

